

# 文部科学省における障害者スポーツ関係予算

## 【障害者スポーツの振興に資する事業】

(前年度予算額 1,704百万円)  
27年度予算額 2,605百万円

- ( 新 規 )
- 1 地域における障害者スポーツ普及促進事業** 130,535千円  
地域において障害者が継続的にスポーツに参加できる環境の整備を促進するため、都道府県等における障害者スポーツ普及のための体制づくりやノウハウ作成を支援するとともに、スポーツ参加における障壁の調査分析を実施する。
  - 2 日本障がい者スポーツ協会補助** ( 224,554千円 )  
246,405千円  
障害者スポーツの普及・啓発や障害者スポーツ指導者の養成・活用等の障害者スポーツ振興を行うとともに、総合国際競技大会への日本選手団の派遣等や、国際競技力向上に資する情報収集・提供等を行う。
  - 3 全国障害者スポーツ大会開催事業** ( 55,000千円 )  
81,000千円  
障害のある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与するため、全国障害者スポーツ大会を開催する。(27年度：和歌山県)
  - 4 競技力向上事業** ( 4,851,934千円 )  
7,400,000千円  
の内数  
**障害者スポーツ関係 1,087,823千円 ( 787,823千円 )**  
従来のJOC補助事業やJPC補助事業等を見直し、PDCAサイクルの強化等を通じた戦略的な選手強化を実施することにより、2020年東京大会に向けた国際競技力の向上を図る。
  - 5 マルチサポート戦略事業** ( 2,834,069千円 )  
3,100,000千円  
の内数  
**障害者スポーツ関係 766,978千円 ( 470,292千円 )**  
オリンピック競技・パラリンピック競技を対象に、我が国のトップアスリートが世界の強豪国に競り勝ち、確実にメダルを獲得することができるよう、メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、アスリート支援や研究開発等について、多方面から専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施する。
  - 6 ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設活用事業** ( 658,559千円 )  
883,952千円  
の内数  
**障害者スポーツ関係 208,763千円 ( 36,771千円 )**  
NTC(中核拠点)のみでは対応が困難な冬季、海洋・水辺系、屋外系のオリンピック競技、高地トレーニング及びパラリンピック競技について、既存の施設を活用した事業を実施する。

7 女性アスリートの育成・支援プロジェクト ( 412,736千円)  
 378,135千円  
 の内数  
 障害者スポーツ関係 73,470千円 ( 0千円)

女性特有の課題に着目した女性アスリートの戦略的強化に資する調査研究や、女性競技種目における戦略的かつ実践的な強化のためのモデルプログラムによる女性アスリートの育成、女性特有の課題に対応した医・科学サポート等に関するモデル支援プログラムを実施し、女性アスリートの国際競技力の向上を図る。

8 体育活動における課題対策推進事業 ( 80,703千円)  
 59,890千円  
 の内数  
 障害者スポーツ関係 10,489千円 ( 9,247千円)

障害のある児童生徒の体育の授業・運動部活動等の指導について、課題事項にかかる効果的な指導方法や優れた力を有する生徒の技能等の向上のための指導・支援の在り方を実践研究する。

9 前年度限りの経費 ( 120,677千円)  
 0千円  
 (1) 健常者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業  
 (2) 障害者のスポーツ参加における安全確保に関する調査研究  
 (3) スポーツにおけるボランティア活動活性化のための調査研究